

四万十式作業路について研修してきました

11月11日から12日にかけて、久慈地方林業振興協議会主催による、久慈地方林業関係者視察研修を開催しました。

参加者は地域けん引型経営体、林研グループ、篤林家など総勢18名で、バスで北上市、花巻市に移動しながら、研修をさせていただきました。

久慈地方の林業関係者が一同に会する貴重な研修会となりました。

【現地研修の様子】



今回のメインテーマは

- ・ 四万十式作業路の開設方法と施工地の状況
- ・ 施業の集約化と低コスト林業でした。

四万十式作業路の施工理念、現

地での施工状況、耐久性の高さ、意外にも安価に開設が可能であることを参加者に理解していただきました。

また、施業の低コスト化を図るためには施業の集約化が必要なこと、そのためにも耐久性に優れた路網整備が必要なことなどを理解いただいたと思います。

【室内研修の様子】



今回の研修を通じて、それぞれの立場で視点が異なり、お互いに意見や情報を交換することの大切さを痛感しました。

参加者から視察研修会の継続実施を希望する声が多いことから、来年度も開催を予定しています。